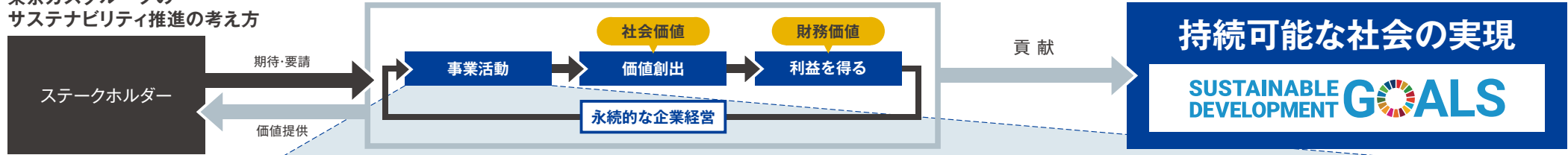


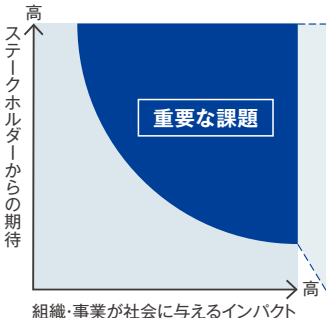
サステナビリティ推進とSDGs達成への貢献

東京ガスグループは「事業活動を通じた社会課題の解決によって社会価値および財務価値を創出し、永続的な企業経営を行うことで、持続可能な社会の実現に貢献していくこと」をサステナビリティ推進の考え方としています。この考え方のもと、事業活動を通じてマテリアリティ(サステナビリティ上の重要課題)に取り組み、SDGsの達成に幅広く貢献していくことを目指しています。

東京ガスグループのサステナビリティ推進の考え方



マテリアリティの特定



ガイドライン等を参照し、検討すべき課題を「ステークホルダーからの期待」および「組織・事業が社会に与えるインパクト」の2つの軸で評価し、マテリアリティ(サステナビリティ上の重要課題)として特定しています。

マテリアリティ(サステナビリティ上の重要課題)とSDGsとの関係

マテリアリティ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
天然ガスを扱うリーディングカンパニーとしてCO ₂ ネット・ゼロをリード							●		●		●		●				●
社会との良好な関係	●	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●
責任ある企業としての行動					●			●		●		●	●	●	●	●	●

※上記関係は東京ガスグループの取り組みの変更に合わせて適宜見直しを行っていくものです。

取り組み事例

レジリエンスの高いインフラを構築

東京ガスのガス供給は、浸水や停電の影響を受けにくく、当社供給エリアの広い範囲で大雨・暴風を引き起こした2019年度の台風15号・台風19号の際も、大きな被害は発生しませんでした。また、2020年度には、事業継続計画(BCP)風水害編を策定しました。



東京ガスの賃貸管理サポート「まもROOM」の提供を開始

高齢単身者向け賃貸住宅のトイレ等のドアにセンサーを設置し、一定期間ドアの開閉がない場合に賃貸管理会社や入居者のご家族等にメールでお知らせすることで、高齢単身者等の安心な暮らしに貢献しています。



東京ガスのハウスクリーニング

当社の研修に合格したスタッフによる高品質なサービスが、暮らしの中の「掃除」の手間を軽減し、時間を創出するとともに、家事支援サービスを通じて家事労働を認識・評価することでジェンダー平等にも貢献しています。

